

※新聞記事のレイアウトを変更しております。

【質問】ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンを公費（無料）で受けることができる定期接種期間に接種を受けませんでした。公費で受けることができる「キャッチアップ接種」について教えてください。
（23歳、女性）

「キャッチアップ接種」

【回答】ヒトパピローマウイルス（HPV）は、性交渉の経験がある女性の約8割が一生のうちいつの間にか感染するとされる、ごくありふれたウイルスです。ほとんどの感染者は自然にウイルスが消えますが、一部の人では感染が持続し、子宮頸（けい）がんを引き起こす場合があります。わが国における子宮頸がんは20代から40代の女性に多く見られ、「マザーキラー」とも呼ばれています。この年代は妊娠、出産、育児の時期と重な

HPVワクチン

機会逃した人に公費で

ります。前がん状態や早期発見により子宮を摘出せずに治療可能ですが、進行すると子宮を全部摘出しなければならず、妊娠をすることができなくなります。

また、手術後の療養により子育てや仕事など日常生活に支障を来したり、最悪、死亡したりすることもあり、本人はもとよ

する非常に効果の高い方法です。この接種が積極的になされている欧米では子宮頸がんによる死亡が激減。オーストラリアでは将来撲滅できるのではとの報告も出されています。

一方、わが国においては、2003年に定期接種が導入され、小学6年生から高校1年生までの



りご家族にも大きな苦痛と悲しみとなります。HPVワクチン接種はこのHPV感染を予防

女子に公費で接種できるようにになりました。しかし、接種後の強い痛みや不随意運動の副作用が報告されたことで接種が控えらるようになりました。その後の研究や欧米での報告から、これらの副作用はワクチン自体の副反応ではないと報告さ

ワクチンは6カ月間期間を空けて3回接種する必要があります。一般的なスケジュールでは、今年9月末までに1回目の接種を受けなければ、来年3月末までに3回目を終了できなくなります。4月以降に接種する回については自費の料金が発生します。

質問をどうぞ

この欄では県医師会が医療制度全般の質問にお答えします。質問希望の方は知りたい内容を分かりやすくまとめ、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「医療制度Q&A」係までお送りください。不明な点をお聞きする場合がありますので住所、氏名、年齢、性別、電話番号明記してください。なお、直接本人への回答はいたしません。

（県医師会）